



# 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年11月10日

上場取引所 東

上場会社名 チタン工業株式会社  
コード番号 4098 URL <http://www.titankogyo.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 松川 正典

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 重永 俊雄

TEL 0836-31-4155

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成24年3月期第2四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	3,405	16.0	400	150.6	377	189.0	371	256.0
23年3月期第2四半期	2,935	38.3	160	—	130	—	104	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	12.34	—
23年3月期第2四半期	3.47	—

### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	9,490	4,426	46.6
23年3月期	8,885	4,165	46.9

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 4,426百万円 23年3月期 4,165百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
23年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,800	14.6	590	33.7	550	40.9	460	41.7	15.27

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	30,276,266 株	23年3月期	30,276,266 株
24年3月期2Q	159,777 株	23年3月期	156,535 株
24年3月期2Q	30,118,515 株	23年3月期2Q	30,124,806 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きは終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(その他)に関する事項	2
3. 四半期財務諸表等	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 継続企業の前提に関する注記	7
(5) セグメント情報等	7
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において当社が判断したものであります。

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災の影響による厳しい状況から徐々に持ち直しの動きがみられましたものの、円高の長期化や海外経済の減速など、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような情勢のもとで、当社は、新規事業の量産体制確立及び規模拡大並びに新製品の拡販に全力を傾注し、持続的な成長の実現に向けて懸命に取り組んでまいりました。

その結果、新規事業として事業化を開始したチタン酸リチウムの出荷開始並びに超微粒子酸化チタン及びトナー向け酸化鉄の新製品の出荷数量増加などの成果により、当第2四半期累計期間の売上高は、前年同期を大幅に上回る3,405百万円（前年同期比16.0%増）となりました。一方、損益面につきましては、売上高の増加及び生産数量の増加に伴う設備稼働率の上昇などにより、営業利益は400百万円（前年同期比150.6%増）、経常利益は377百万円（前年同期比189.0%増）となりました。また、特別損失として固定資産除却損を計上いたしましたので、四半期純利益は371百万円（前年同期比256.0%増）となりました。

なお、当社は、チタン酸リチウムを新規事業分野と位置づけ、事業化に鋭意取り組み、平成22年10月にチタン酸リチウムの新工場を竣工し、平成23年2月から本格的な出荷を開始いたしました。

チタン酸リチウムは電気自動車や高性能電力貯蔵用のリチウムイオン2次電池の部材として、将来の大きな成長が見込まれておりますので、新規事業を強化、拡大するため、現在、当該設備の増設に着手しており、平成24年2月に増設工場の竣工を予定しております。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

#### (酸化チタン)

高付加価値品の超微粒子酸化チタンは、新製品の開発と拡販に注力いたしました結果、UVカット化粧品向け及びトナー外添剤向け新製品の出荷数量が順調に増加いたしました。また、新規事業のチタン酸リチウムにつきましても本格的な出荷を開始し、出荷数量が順調に増加いたしました。

以上の結果、当セグメントの売上高は2,315百万円（前年同期比28.0%増）となり、営業利益は321百万円（前年同期比85.4%増）となりました。

#### (酸化鉄)

酸化鉄につきましては、新製品の拡販に注力いたしました結果、トナー向け新製品の出荷数量が増加いたしました。また、塗料向けやトナー向けなどの既存製品の出荷数量が減少いたしました。

以上の結果、当セグメントの売上高は1,054百万円（前年同期比3.7%減）となり、営業利益は65百万円（前年同期は営業損失25百万円）となりました。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

#### ①資産、負債、純資産の状況

資産につきましては、投資有価証券の減少などがあったものの、現金及び預金、受取手形及び売掛金の増加などから、当第2四半期会計期間末9,490百万円と前事業年度末と比べて604百万円増加いたしました。

負債につきましては、長期借入金、退職給付引当金の減少などがあったものの、支払手形及び買掛金、その他の固定負債の増加などから、当第2四半期会計期間末5,063百万円と前事業年度末に比べて343百万円増加いたしました。

純資産につきましては、その他有価証券評価差額金の減少があったものの、四半期純利益の計上などから、当第2四半期会計期間末4,426百万円と前事業年度末に比べて261百万円増加いたしました。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間におきましては、売上債権の増加、たな卸資産の増加、長期借入金の返済による支出などの資金減がありましたものの、税引前四半期純利益の計上、減価償却費、仕入債務の増加、補助金収入などの資金増によりまして、前事業年度末に比べて355百万円増加（前年同四半期累計期間は121百万円増加）しており、資金の残高は977百万円となりました。

### (3) 業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、現時点では平成23年8月10日に公表いたしました業績予想と変更はありません。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表等  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	623	979
受取手形及び売掛金	1,435	1,670
商品及び製品	1,095	1,101
仕掛品	366	405
原材料及び貯蔵品	379	445
その他	42	24
流動資産合計	3,942	4,626
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,303	1,259
機械及び装置(純額)	2,301	2,346
その他(純額)	451	453
有形固定資産合計	4,056	4,059
無形固定資産		
	2	2
投資その他の資産		
投資有価証券	527	445
その他	368	368
貸倒引当金	△11	△11
投資その他の資産合計	884	801
固定資産合計	4,943	4,864
資産合計	8,885	9,490
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	628	756
短期借入金	950	950
1年内返済予定の長期借入金	395	334
未払法人税等	13	10
賞与引当金	57	69
その他	287	542
流動負債合計	2,332	2,662
固定負債		
長期借入金	1,300	1,141
退職給付引当金	983	936
資産除去債務	3	3
その他	100	319
固定負債合計	2,386	2,400
負債合計	4,719	5,063

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,443	3,443
資本剰余金	292	292
利益剰余金	324	636
自己株式	△28	△29
株主資本合計	4,032	4,342
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	133	84
評価・換算差額等合計	133	84
純資産合計	4,165	4,426
負債純資産合計	8,885	9,490

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	2,935	3,405
売上原価	2,380	2,602
売上総利益	554	802
販売費及び一般管理費		
運搬費	82	85
給料及び賞与	51	49
賞与引当金繰入額	5	8
退職給付引当金繰入額	5	4
研究開発費	117	99
その他	133	154
販売費及び一般管理費合計	394	402
営業利益	160	400
営業外収益		
受取利息	2	0
受取配当金	3	6
その他	12	12
営業外収益合計	18	19
営業外費用		
支払利息	28	28
その他	19	14
営業外費用合計	47	43
経常利益	130	377
特別損失		
固定資産除却損	16	3
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	7	—
特別損失合計	23	3
税引前四半期純利益	106	374
法人税、住民税及び事業税	2	2
法人税等合計	2	2
四半期純利益	104	371

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	106	374
減価償却費	155	188
賞与引当金の増減額(△は減少)	5	11
退職給付引当金の増減額(△は減少)	4	△47
受取利息及び受取配当金	△6	△7
支払利息	28	28
その他の営業外損益(△は益)	4	△1
有形固定資産除却損	16	3
その他の特別損益(△は益)	7	—
売上債権の増減額(△は増加)	△324	△235
たな卸資産の増減額(△は増加)	174	△110
仕入債務の増減額(△は減少)	53	206
未払消費税等の増減額(△は減少)	△47	24
小計	179	435
利息及び配当金の受取額	6	7
利息の支払額	△26	△26
法人税等の支払額	△5	△5
その他	4	11
営業活動によるキャッシュ・フロー	158	422
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1	△1
定期預金の払戻による収入	1	1
有形固定資産の取得による支出	△6	△33
有形固定資産の売却による収入	49	—
貸付けによる支出	△1	—
貸付金の回収による収入	31	1
補助金収入	—	252
その他の支出	△0	△1
その他の収入	0	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	71	218
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	100	—
長期借入金の返済による支出	△208	△219
自己株式の取得による支出	△0	△1
配当金の支払額	—	△60
財務活動によるキャッシュ・フロー	△108	△281
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△3
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	121	355
現金及び現金同等物の期首残高	668	622
現金及び現金同等物の四半期末残高	789	977



- (4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

前第2四半期累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

- ① 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	四半期損益 計算書計上額 (注2)
	酸化チタン	酸化鉄	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,808	1,094	2,903	31	2,935	—	2,935
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,808	1,094	2,903	31	2,935	—	2,935
セグメント利益又は損失(△) (営業利益)	173	△25	147	12	160	—	160

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、副産物等の販売を含んでおります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- ② 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

当第2四半期累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

- ① 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	四半期損益 計算書計上額 (注2)
	酸化チタン	酸化鉄	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,315	1,054	3,369	36	3,405	—	3,405
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,315	1,054	3,369	36	3,405	—	3,405
セグメント利益 (営業利益)	321	65	386	14	400	—	400

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、副産物等の販売を含んでおります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- ② 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。

以上